

# 会報

No. 22

平成2年9月1日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9  
京都府立図書館内  
TEL(075)771-0069

## 平成二年度 京都府図書館等連絡協議会定期総会開催

六月六日、今年度の総会が京都ライトハウス点字図書館において開催されました。

はじめに、当連絡協議会の橋本實会長の挨拶、京都ライトハウスの三宅健次主事の来賓祝辞と、ライトハウスでのサービス内容の説明がありました。続いて、京都府立図書館の林芳男館長の祝辞のあと、亀岡市立図書館の高向洋祐館長を議長に選出し議事が進められました。

まず、事務局より平成元年度の会務報告及び収支決算報告を、監事より会計監査報告をそれぞれ行い、提案どおり承認されました。

次に、平成二年度の事業計画（案）及び予算（案）も提案どおり承認されました。

本年度の事業として、日本図書館協会々員との交流会や実務研修会などを開催、相互協力事業の実態調査、「会報」の充実発行などを実施推進することとなりました。

総会修了後、今年度の京都府図書館等連絡協議会加盟職員の表彰と、元京都府図書館々長浜辺一彦氏（故人）の特別表彰が行われ、その功績を称え表彰状と記念品が渡されました。

午後には、当協議会の小山雄一理事（京都府教育庁社会教育課主幹）の講演、「第二回生涯学習フェスティバルと図書館」・ビデオ「まなびピア89イン千葉」の上映がありました。その後、会場の施設見学としてライトハウスの点字図書館の作成現場や図書館等を見学し、全日程を終了しました。

### 会長挨拶

図書館界においても、生涯学習推進のための図書館サービスを体系的に整備していかなければならないことは、皆様方もよくご承知のとおり

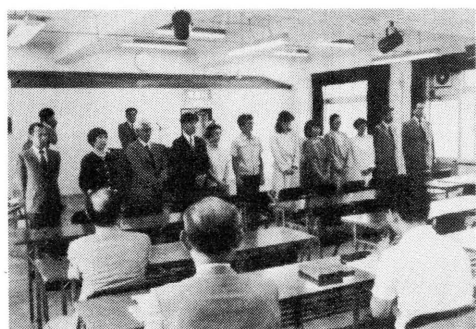
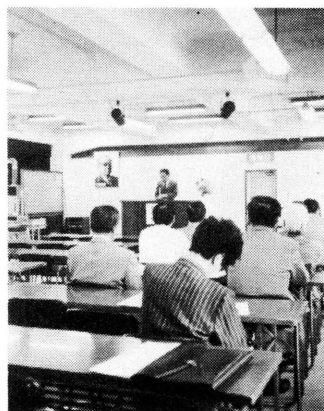
であります。

京都府の第四次総合開発計画のなかにも「生涯学習・図書館情報ネットワークの構築」があげられておりますし、また、本年一月に中教審の「生涯学習の基盤整備について」答申があり、これを受けて文部省は「生涯学習の振興のための施策の推進等の整備に関する法律」案を、国会に提出しております。

法は法として、今日まで図書館が果たしてきた役割を十分認識して、これからの生涯学習の拠点としての図書館づくりをしていかなければならないと思います。

今年度は、京都府第二回生涯学習フェスティバルが開催されますので、当協議会としても参加し、協力することにより、図書館についての理解を深めてもらうことが必要だと思っております。

今後とも一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。



## 平成元年度表彰者

橋本 悦男 京都市中央図書館

三谷 千里 長岡京市立図書館

津守 良子 城陽市立図書館

内藤 千鶴 亀岡市立図書館

森方百里子 福知山市立図書館

岡本 知子 宮津市立図書館

水口 武夫 京都ライトハウス点字図書館

志垣 恵子 京都ライトハウス点字図書館

江尻 裕樹 京都ライトハウス点字図書館

目金 尚民 京都府立総合資料館

大塚千満子 京都府立図書館

山崎 良明 京都府立図書館

特別表彰者

浜辺 一彦 京都府立図書館

## 第一回理事会報告

今年度最初の理事会が五月二十二日に府立図書館で、新しく選出された理事によって開催されました。

平成元年度の会務報告・収支決算報告と平成二年度の事業計画(案)および予算(案)と、平成二年度の定期総会について協議され、その後

今年度の表彰職員及び特別表彰につ

いて、それぞれ協議の結果承認され総会に諮られることとなりました。

また、今期の役員選出では互選の結果、会長に再度橋本實氏、副会長に山口隆氏が選出されました。

今年度の総会は、京都ライトハウス点字図書館で開催されることが決定されました。

## 役員等の紹介

会長 橋本 實

(福知山市立図書館長)

副会長 山口 隆

(城陽市立図書館長)

理事 丹田 長史

(木津町立図書館長)

林田 寛

(向日市立図書館長)

加藤 政男

(美山町中央公民館長)

高木 茂

(園部町立園部図書館長)

入柿 工美

(宮津市立図書館長)

下戸 明夫

(峰山町立図書館長)

小山 雄一

(京都府立図書館主幹)

富田 純造

(京都市下京図書館長)

会計監事 小泉 浩史

(長岡京市図書館長)

川島 章夫

(久御山町立図書館長)

顧問 林 芳男

(京都府立図書館長)

太田 至郎

(京都府立総合資料館長)

小嶋 健市

(京都市中央図書館長)

研究研究委員会委員長 丹田 長史

相互協力委員会委員長 小山 雄一

広報委員会委員長 富田 純造

事務局 守川 宣子

(京都府立図書館振興課長)

事務局員 井田 茂子

(京都府立図書館専門員)

水江 洋一

(京都府立図書館主査)

## 館長の異動

京都市中央図書館

新 小嶋健市

西京図書館

旧 松岡 弘

新 吉田久弘

旧 井上嘉久

洛西図書館

新 木南克次

旧 林 義和

宇治市中央図書館

久御山町立図書館

丹波町中央公民館

舞鶴市立東図書館

舞鶴市立西図書館

京都府立総合資料館

新 石沢誠司

旧 五十嵐 一郎

新 川島章夫

旧 森田和義

新 小嶋 功

旧 徳岡孫太郎

新 稲葉優適

旧 中西俊夫

新 中西俊夫

旧 末廣重治

新 太田至郎

旧 小嶋一夫

## 近公図研究集会日程

○奉仕部門研究集会

神戸市立中央図書館

○整理部門研究集会

兵庫県立図書館

○参考事務研究集会

期日未定

滋賀県甲西町立図書館

十一月十六日(火)



## 図書館めぐり

### 大江町立大江図書館

大江町立図書館は、昭和二十八年に開設、その後町民総合センターへ移転、更に昭和六十三年十一月には新しい総合会館へ再移転し現在に至っています。

この会館は、大江町の中心となる河守駅前に設けられているイベントホール等と共に併設されています。図書館は一階入口に近く、今までより少し広い一・二平方メートルで採光、換気など環境も一新され利用者に喜ばれています。

現在、蔵書数一六、七五〇冊で、平成元年度の延利用者は、八、一〇四人で町民の一・三倍の利用率となっており、近年増加の傾向が見られます。



### 京都市醍醐図書館

平成元年九月には「この本だいきの会」の代表児童文学者の小松崎進氏より鬼に関する四十八冊の本を寄贈して頂きました。早速当館に「鬼の子文庫」を設置しました。午後になるとちびっ子たちがやってきて鬼の絵本に無中になっています。今後鬼の本の収集は継続して行い、この文庫をふくらませていきたいと考えております。

歴史ある京都市伏見区醍醐地域に隣接の東清掃工場のごみ焼却熱を利用した施設として「京都市東区熱利用センター」内に、一階は老人保養センター、二階に温水プールと図書館の複合施設で昭和五十六年六月にオープン致しました。

利用者は、プールで水泳しその後、図書館で読書という層が多く夏休みには、水着のまま図書館へ入館する子どもの姿が珍しくありません。

利用冊数は、昭和五十九年度三十三万冊で一日平均千冊をこえています。



たが、以後減少傾向にあり、平成元年度は一日平均八百二十六冊にまで落ち込んできています。

特に児童への貸出冊数が大幅に減少し、昭和五十九年度を百とすると平成元年度は五十三・七となっていています。

こうした状況を打開するひとつとして、紙芝居、絵本の読み聞かせ、アニメ映画、手づくり工作等を組み合わせた行事を毎月一回行い、PRに醍醐地域を走り回っております。子どもたちが図書館にこなくなつた、本を読まなくなつた、テレビやテレビゲームで子ども文化が変わつたと嘆かず、新たな図書館利用者の発掘とともに選書、排架、レファレンスを充実させて行きたいと思っています。

## ニュース・News

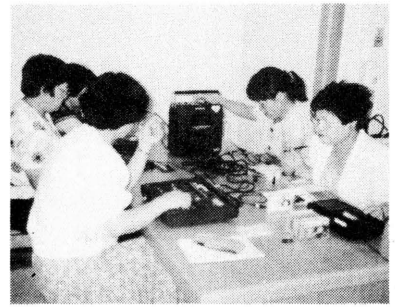
### 障害者がまつ カセットブック

#### 長岡京市立図書館

長岡京市立図書館では、目の不自由な市民のために点字図書が七百七冊在ります。

そのほか対面朗読を月二回行っていますが、ひとりで館に来られる人は数少なく、あまり利用がありません。そこで市社教所属のボランティア朗読奉仕部と図書館がタイアップして、カセットブックの制作に取り組み、現在で十三タイトル百二十二巻が完成。希望者に郵送しています。引き続き制作中です。

館では、朗読奉仕部からの協力を受け、昨年七月に市内の視覚障害者協会員四十八人にリクエストのアンケート調査を実施。訪問調査を含め小説から紀行文など希望図書の回答を得て著作権者の承認、郵政省盲人用録音物等発受施設の指定手続き、ポーカーマイク等機器の購入もしました。平行して朗読奉仕部のテープ吹込み開始。何度となくやり直しながら機器の操作、設備の不十分さを乗り越え要望のある限り続けたいと張り切っております。



市内で最初にテープを聞いたときは、「小2で失明し、点字本に頼っていたが途中失明の人にはこのテープが情報のすべてになるでしょう。」と期待を寄せています。これを機会に小泉館長は、福祉的機能をもっと高めていき攻めの図書館運営をしたいと語っています。

#### 平成二〇三年度

##### 研修研究委員会委員

山田 真澄 長岡京市図書館  
田中 芳子 城陽市立図書館  
川島 章夫 久御山町立図書館  
仁科 晴夫 八幡市立八幡市民図書館  
川原 容子 田辺町立図書館  
◎丹田 長史 木津町立図書館  
西嶋 京子 加茂町立図書館  
城 洋子 精華町立図書館  
内藤 千鶴 亀岡市立図書館  
上羽寛一郎 綾部市立図書館  
稲葉 優適 舞鶴市立東図書館

下戸 明夫 峰山町立図書館  
江尻 裕樹 京都ライトハウス点字図書館  
長谷川匡男 京都府立総合資料館  
田中かず子 京都府立図書館  
飯山 節子 京都市伏見中央図書館  
相互協力委員会委員

小川美恵子 京都市中央図書館  
安田 美紀 向日市立図書館  
端野 律子 八幡市立八幡市民図書館  
前川 宗範 田辺町立図書館  
栗林さよ子 亀岡市立図書館  
岡本 知子 宮津市立図書館  
黒坂 紘一 京都府立総合資料館  
◎小山 雄一 京都府立図書館  
中谷 昌子 木津町立図書館

##### 広報委員会委員

◎富田 純造 京都市下京図書館  
雁沢 俊敬 京都市醍醐図書館  
小寺美佐江 宇治市中央図書館  
桑原由美子 京都府立図書館  
広報委員会連絡協力員

##### (京都市内)

雁沢 俊敬 京都市醍醐図書館  
(乙訓地域)  
大喜多千景 長岡京市図書館  
(山城地域)

小寺美佐江 宇治市中央図書館  
(北桑田・南丹・中丹地域)  
石田 真弓 亀岡市立図書館  
(中丹・与謝・丹後地域)  
入柿 工美 宮津市立図書館

##### ◎印は委員長

## 専 門 委 員 会 ニ ュ ー ス

### 研修研究委員会

#### 平成二〇三年度

##### 研修研究計画について

七月二十日(金) 京都府立図書館において、各館から選出された十六名の委員が出席して研修研究委員会を開催し、事業計画を次のように決定致しました。

- 一、北部、南部の地区研修については各地区で行う
- 二、日本図書館協会との交流は例年通り行う
- 三、研究グループの活動

##### ア、児童奉仕研究

児童書の選書、排架方法、分類等明日の図書館づくりに役立つことを目指したアンケート調査を実施し、各館の参考になるものを作成したい。

##### イ、障害者奉仕研究

「障害者と公共図書館」をテーマに「視覚障害について、公共図書館と点字図書館の違い、著作権の問題、書誌情報の提供についてなど」に取り組み次年度は、肢体不自由者への図書館奉仕の問題を考えて行きたい。今年には京都ライトハウス(主催)において、点字百周年を記念して「視覚障害者生活展」と、講演会が十一月十七日(土)に開催されますので、参加を予定しています。

##### ウ、参考奉仕研究

各館の事情を知るための実情報告会・基本実務の研修会・講演会のい

ずれかを十月と一月に予定しています。

##### エ、一般研修

本の修理、整理技術等実務面での研修を目的とした新しいグループと他のグループの企画と関連があるとき、合同で開催します。

##### オ、一泊研修

企画メンバーで検討致します。その他

京庫連、日図協との関係については、府の理事会に提起して、整理していただきます。

### 相互協力委員会

平成二年度の相互協力委員会初会合は、九月に開催し左記の活動内容を協議致します。

- 1 昭和六十一年制定の「相互貸借実施要領」の点検。
  - 2 相互貸借実態調査。
  - 3 京都府域における公共図書館ネットワークシステムの在り方研究。
- 相互協力委員会委員長・小山雄一

### 広報委員会だより

このたび、広報委員の担当が交代致しました。前号まで、担当されました方々のご努力に感謝致します。図書館に関するニュースや行事等の情報を各地域の連絡協力委員まで皆様からのお便りを送って下さい。